

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム	担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成25年度	担当課室	科学技術・学術戦略官(国際担当)付	科学技術・学術戦略官(国際担当)	長野 裕子		
会計区分	一般会計	政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図ることを目的としている「国際機関への拠出等」のうち、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は、学際性、国際性、若手重視の基本理念に基づき、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度である。国際HFSP推進機構への拠出は、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	「国際機関への拠出等」のうち、本事業は、国際HFSP推進機構の活動である。①国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成(研究 Grant)、②若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、③フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード(CDA)、④受賞者会合等の実施に必要な経費を拠出するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	1,488	1,354	1,371	0
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	1,488	1,354	1,371	0
	執行額	-	1,488	1,354	-	-	
執行率(%)	-	-	100.0%	100.0%	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすため我が国が提唱したものであり、国際HFSP推進機構への拠出により、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供することを目的としていることから、定量的な指標による評価になじまない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究 Grant 助成実績(総受賞者数)	活動実績(当初見込み)	人	103	105	109	-
	フェローシップ助成実績	活動実績(当初見込み)	件	86	85	85	-
	CDA 支援実績	活動実績(当初見込み)	件	16	8	8	-
				※()内は平成22年度「生体機能国際協力基礎研究の推進」によるもの。なお、平成23年度及び平成24年度については、当該事業の継続分も含まれる。			
単位当たりコスト	-	算出根拠	日本政府の拠出金は、Grant・フェローシップ・CDA 支援等の HFSP の活動に使われるが、用途の割合を特定して拠出しているわけではない。そのため各アウトプットに対応するインプットの額を特定できないことから、単位当たりコストは算出できない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	生体機能国際協力基礎研究拠出金	1,371百万円	0百万円	平成25年度限りの経費			
	計	1,371百万円	0百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は基礎研究分野に対する支援であり、民間の研究のみでは解決できないところが多分にあることから、国が実施すべきであり、ニーズの高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	本事業は、参加各国からの拠出金を用い、HFSP事務局の審査委員による審査を経て決定した候補者に研究資金等を提供するものであり、運営経費以外の用途はない。HFSP事務局が支援国から独立して研究課題の採択を行っていることから、真に学術的な意義の高い研究につながっているという意見がある一方、日本の拠出割合に対して、日本人の採択率が低い点が指摘されているため、今後はより本プログラムを周知し、優秀な日本人研究者の応募を促進する。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は、近年、アジア地域を中心とした科学技術外交の重要性が問われる中で、アジアのみならず先進国間における我が国のプレゼンスを維持することに大きく貢献してきた。また、当グラントを獲得した後にノーベル賞を受賞した研究者は2012年までに合計18名にのぼり、基礎研究レベルの向上につながっている。我が国の拠出額の割合については、初年度は我が国の拠出額が全体の約97%を占めていたところ、当面は50%まで削減する目標を設定し、2010年度に達成している。今後も他参加国にさらなる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努める。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当省は基礎研究振興の観点から、経済産業省は研究開発・産業技術水準の向上の観点から参加し、拠出金を分担。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	2	生体機能国際協力基礎研究拠出金	経済産業省			
点検結果	<p>本事業は、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とし、国際HFSP機構へ拠出されており、当グラントを獲得した後にノーベル賞を受賞した研究者が2012年までに合計18名にのぼるなどの成果をあげ、世界的にも評価の高い研究プログラムとして定着していることから、今後も本事業を継続することが重要である。</p> <p>なお、我が国の拠出額の割合を50%まで削減する目標を設定していたが、2010年度に達成している。今後も他参加国にさらなる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努める。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止することとしている。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0191	平成23年	0033	平成24年	0214	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
(1,354百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、生体の複雑な機能の解明を対象として若手研究者を中心とする研究グラント等、HFSPの各種事業の実施に必要な経費を拠出する。



〔拠出〕

【A】国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構
(1,354百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成、若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するCDA、受賞者会合等、HFSPの各種事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	研究 Grant 事業、フェローシップ事業、学際 的フェローシップ事業、CDA、受賞者会合を 実施するための経費及び管理経費	1,354			
計		1,354	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」におい
 てブロックごとに最大の
 金額が支出されている
 者について記載する。
 費目と使途の双方で実
 情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構	研究グラント事業、フェローシップ事業、学際的フェローシップ事業、CDA、受賞者会合の実施	1,354	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。